

会議概略

1. 分科会長の選出について

→・小山信彌(東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科部長)氏が分科会長、吉田英機(昭和大学医学部名誉教授)氏が分科会長代理に選出された。

2. 報告事項等

○東北地方太平洋沖地震に係るDPC制度関係の対応について

→・被災者受け入れや被災地への職員派遣による看護要員の数等の施設基準変更の届け出は行わなくてもよいこととした。
・DPCデータの提出期限を約3カ月延期した。

○DPC対象病院・準備病院の現況について

→・平成23年度に59病院が参加し、平成23年4月1日現在で1,449病院となった。

○平成23年度機能評価係数Ⅱについて

→・22年度改定で設定された調整係数の評価総額を変更しない形で6つの係数を再設定した。
・6つの係数への配分についても、平成22年改定での中医協合意に基づき、まず、救急医療係数に配分し、評価総額から差し引いた残りを5係数で等分した。
・救急医療係数は昨年度の様式1の仕様変更により低下する傾向にあるが、他の5係数は全体として上昇傾向にある。

○平成24年度診療報酬改定に向けた診断群分類の見直し作業について

→・従来の指針を維持する方針。様式1の重要性を確認し、見直し原案を作成する。
・様式1見直し原案に対するスケジュールが了承された。

3. 平成23年2月9日DPC評価分科会 検討概要(検討事項と主な意見等)

4. 高額薬剤等の取扱いに係る論点について

○高額薬剤等の取扱いに係る論点について

→・指摘されている課題としては次のとおり(在院日数への影響、新たな高額薬剤のDPC/PDPS(※)における取扱い、DPC精緻化のあり方、

長期継続的な投与を要する高額薬剤の範囲)。

※DPC/PDPS: DPCに基づく1日当たり定額報酬算定制度
(Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System)

- ・今後更に論点等を整理しつつ、検討を継続していく。

ODPC/PDPSにおける高額薬剤の取扱いに係るヒアリングの実施について(案)

- ・先の論点を整理しつつ、現場等の意見を収集するためヒアリングを行うことでした承された。

5. 今後のDPC/PDPS導入影響評価のための調査について

～これまでの経緯と課題～

- ・現在収集している調査項目はデータ収集を継続する。
 - ・収集したデータはモニタリングにとどめる項目と重点的に評価・分析を行う項目とに整理する。
 - ・今後、外来、施設機能、医療の質の調査を追加することで、次回以降に引き続き検討する。

6. 医療機関群の設定について(1)

- ・DPC/PDPS調整係数見直し後の医療機関係数として、基礎係数、機能評価係数Ⅰ及び機能評価係数Ⅱを合算した値とする方向で検討。
 - ・基礎係数は、参加病院を幾つかの医療機関群に分類して設定することにより、病院の診療機能(施設特性)を反映。
 - ・医療機関群の設定については、機能的な視点と診療実績データの視点を取り入れる。
 - ・今回の集計・分析の結果と医療機関の担う役割や機能から、大学病院本院については、独立した医療機関群として考慮する方向。
 - ・また、今後の更なる医療機関群の検討については、「カテゴリ内の均質化や、べき論ではなく、データから導かれる結論が重要」(松田委員)といった意見が出された。
- ・今後の医療機関群の検討スケジュールは、下記の通り。

5月	本日の議論を踏まえた特別調査・追加集計項目の検討
6月	特別調査・追加集計の実施
7月以降	特別調査・追加集計の結果に基づく分析

※なお、次回のDPC評価分科会は平成23年5月30日(月)に開催予定。